

< もくじ >	
1. シニア社会塾：秋の二つの講演会の申し込みを受け付けています	1
2. 研究会からのお知らせ	2
3. 各研究会の概要報告	2~3
4. 「大磯コミュニティ・カレッジ」講演会のご案内（再掲）	3

1. シニア社会塾：秋の二つの講演会の申し込みを受け付けています。

すでに JAAS News 第217号にチラシを添付してお知らせいたしましたように、今年度のシニア社会塾では、9月16日と10月28日の2回にわたって「秋の講演会」を企画いたしました。まだ申し込みを受け付けております。まだの方はぜひこの機会にお申し込みください。

この企画は、3年計画で進められている「持続可能な超高齢社会をめざして」という大テーマの深化に結びつくようなテーマで開催いたします。一つは、超高齢社会の持続可能性の条件の一つである、自然環境の維持・自然エネルギーへの転換可能性に関するテーマであり、もう一つは、超高齢社会に対するわれわれ自身の人生の向き合い方にかかわるテーマです。詳細については、JAASNews 第217号添付のチラシをご覧ください。ぜひ多くの会員およびお知り合いの方のご参加をお待ちしております。

(1) 9月16日の講演会

1) 講師：吉原 毅（城南信用金庫顧問、原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟会長）

2) テーマ：「自然エネルギーで世界は大発展！～フクシマから学ぶもの～」

なお、河合弘之監督『日本と原発 4年後 法廷版』（30分）を上映します。

3) 日時：2017年9月16日（土） 14：00～16：30

4) 場所：駒澤大学 9号館 179 教室（別添チラシに案内図があります）

5) 参加費：一般 1000 円、学生（社会人を除く）500 円

◆ 「一般社団法人シニア社会学会」と「原発ゼロ・自然エネルギー推進連盟」の共催

※ 申込方法：チラシまたは Excel 申込用紙を利用して事務局あてに、FAX かメールにてお申し込みください。

(2) 10月28日の講演会

1) 講師：木村利人（元恵泉女子大学学長、早稲田大学名誉教授）

2) テーマ：「戦争・平和・いのちを考える～態度に示そう Creative Aging」

なお、講演中、ベトナム戦争当時の枯葉剤による被害の映像を上映します。

3) 日時：2017年10月28日（土） 14：00～16：30

4) 場所：駒澤大学 1号館 202 教室（別添チラシに案内図があります）

5) 参加費：一般 1000 円、学生（社会人を除く）500 円

◆ 「一般社団法人シニア社会学会」主催

※ 申込方法：チラシまたは Excel 申込用紙を利用して、事務局あてに、FAX かメールにてお申し込みください。

2. 研究会からのお知らせ

(1) 第42回「災害と地域社会」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年9月26日（火） 18：00～20：00
 - 2) 場 所：早稲田大学戸山キャンパス 39号館6階第7会議室
 - 3) 報告者：河藤佳彦（高崎経済大学）
 - 4) テーマ：「震災復興の産業政策」（仮称）
 - 5) 参加費：500円（ただし、社会人を除く学生、早稲田大学総合人文科学研究センター〈現代の危機と共生社会〉研究部門および、早稲田大学プロジェクト研究所のメンバーは無料）
- ※ お問い合わせは、福原（fukuhara@jaas.jp）までお願いいたします。今回は曜日が火曜日に変更になりましたのでご注意ください。

(2) 第104回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年9月27日（水） 18：00～20：00
 - 2) 報告者：重松 正行氏（社会福祉士・生活支援コーディネーター）
 - 3) テーマ：「住民とともに取り組んだサロン作り」
 - 4) 会 場：日本労働者協同組合連合会 会議室
豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル 8階
- ※ ご質問がございましたら、佐藤まで。
090-4436-6853 fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp

(3) 第47回「シニア社会のリテラシー」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2017年9月28日（木） 15：00～18：00
 - 2) 場 所：早稲田大学・大隈会館教職員レストラン楠亭（個室）
Tel：03-5285-1121（リーガロイヤルホテル東京内）
場所が通常とは異なりますので、ご注意下さい。
 - 3) テーマ：発表と討議 — ソーシャルキャピタルについて
 - 4) 発表者：大下勝巳さん。
 - 5) 参加費：300円
 - 6) その他：個室での例会終了後、レストランに場所を移し、懇親会を予定しています。
- ※ お問い合わせは、島村（ken-sima1941@jcom.home.ne.jp）までお願い致します。

3. 各研究会の概要報告

(1) 第103回社会保障研究会概要報告

- 1) 日時：2017年7月19日（水） 18：00～20：00
- 2) 場所：日本労働者協同組合会議室（豊島区東池袋1-44-3 池袋ISPタマビル8階）
- 3) 講師：松崎 実穂（国際基督教大学ジェンダー研究センター）
- 4) テーマ：若者ケアラー（家族を介護する若者）の困難と求められる支援

英国等では家族介護を担う18歳未満の子どもをヤングケアラー、概ね18歳～24歳の若者はヤングアダルトケアラーと呼ばれ、年齢層の高い介護者とは異なる福祉的ニーズを持つ存在として捉えられている。日本では家族介護を担う子どもや若者に対する公的な呼称は定められていないが（一社）日本ケアラー連盟による定義では18歳未満の子どもをヤングケアラー、18歳以上からおおよそ30代までを若者ケアラーとしている。日本に於けるヤングケアラーや若者ケアラーの実態に関する調査研究はまだ黎明期である。

本報告では、報告者が2014年から2017年にかけて実施したインタビュー調査から、若者ケアラーのケースがいくつか紹介された。まず社会人のケースでは、非正規雇用で介護と仕事を

両立したが、解雇されないよう睡眠時間を削って仕事をするなど、介護と仕事との綱渡り状態になっていた様子が窺えた。また学生では、教師の理解が得られず、学業に支障をきたす例もみられた。

さらに、若者ケアラーの経験した心理的な葛藤についても報告された。家族の介護を担っている若者は、自分よりも家族を優先していることがある。自分のしたいことと家族をケアすることが引き替えとなってしまいう状況で、その葛藤を乗り越えるためには膨大な時間とエネルギーを要する。また学生の場合学業と介護は両立することそのものが社会的に想定されていない。家族の介護を担っている学生が学業から排除された場合、キャリア構築や就業のルートが絶たれ、社会的に孤立する可能性もある。

現在の日本社会に於ける課題は、若者ケアラーの現状に対する認識不足、介護保険制度の不備、教育制度の不備などである。ヤングケアラー・若者ケアラーを支えるためには、まず安心して相談できる場所が確保されることが重要である。自治体や事業所、教育機関や職場において、ヤングケアラーや若者ケアラーからの相談を受け、ヤングケアラーの存在を発見する仕組みが作られていくことが望まれる。

(松崎実穂 記)

4. 「大磯コミュニティ・カレッジ」講演会のご案内（再掲）

濱口副会長が主宰され、当学会が後援する表記講演会の第8期プログラム「日本人の肖像シリーズ」の第26回で濱口副会長（9月7日終了）、第28回で安田和紘さん、佐藤敬さん、島村健次郎さんが講演されますので、ご案内致します。

1) プログラム

第28回 日 時：2017年11月2日（木）14：30～16：30

テーマ：新聞紙面から見えてくる社会の姿 — 格差・貧困・分断の問題を中心に—

講 師：安田 和紘、佐藤 敬、島村 健次郎

2) 会 場：JR大磯駅前のエリザベス・サンダース・ホーム地域交流スペース

3) 申込み・問合せ：電話0463-61-0476（こみゆにてー・パティオかりん・富山氏）

4) 参加費：1回 1000円 (島村記)

一般社団法人シニア社会学会・事務局（月・水・金オープン）

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷3-15-5 パールビル4階

電話&FAX：(03) 5778-4728

eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：<http://www.jaas.jp/>